実教出版

2026 教育支援セミナー



テーマ

生成AIを前提とした高校の授業と評価
―全国調査から考える活用と不正防止―

仙台大学体育学部 教授　齋藤 長行 先生

生徒の不正を防ぐ生成AI活用術とは？
仙台大学の全国調査に基づくオンラインセミナー

授業準備や探究学習における生成AIの活用、こんなお悩みを抱えていませんか？
・生徒の不正行為やコピペ提出をどう防げばいいのか分からない
・万が一、不正使用が起きた際の指導や再発防止策に苦慮している
・「自分の教科」で具体的にどう授業に組み込めるのかイメージがわかない
本セミナーでは、話題の新刊『高校教育における生成AIガイド』の著者を講師にお招きし、高校の授業現場に即した実践的なアプローチを解説します。
オンラインでの開催ですので、お気軽にお申し込みください。



講　師



仙台大学体育学部　教授　齋藤 長行 先生

仙台大学体育学部スポーツ情報マスメディア学科教授。博士（メディアデザイン学）、博士（国際日本研究）。OECD科学技術産業局ポリシーアナリスト等を経て現職。総務省情報通信政策研究所特別研究員。専門は社会情報学・行動経済学・教育工学で、青少年のインターネット利用環境や生成AIの教育利用を研究している。2024年から生徒・学生と教員を対象とする生成AI教育利用の全国調査を継続して実施している。著書に『高校教育における生成AIガイド』（共著、実教出版、2026年）ほか。

このセミナーは「教科書発行者行動規範」を遵守して企画しております。

お申し込みは裏面をご覧ください

お気軽にご参加ください！

開催概要

○開催日時 2026年12月12日（土）13:30～14:50（開場13:15）

※お申し込みいただいた方には、後日期間限定で当日録画した動画をご覧いただけるように配信いたします。

○タイムスケジュール

13:30 ～13:35 開会のあいさつ
13:35 ～14:35 セミナー「生成AIを前提とした高校の授業と評価―全国調査から考える活用と不正防止―」
14:35 ～14:45 質疑応答
14:45 ～14:50 閉会のあいさつ

○テーマ

生成AIを前提とした高校の授業と評価―全国調査から考える活用と不正防止―

生成AIは、高校生の学習活動にすでに広く入り込んでいます。仙台大学が2026年3月に実施した全国調査（有効回答8,090名）では、高校生回答者の77.9%が生成AIの利用経験を有していました。一方、生成AIを利用している生徒・学生のうち、生成AIが書いた文章の引用方法を知っている者は41.5%にとどまり、出力をコピー＆ペーストして提出した経験を持つ者は32.5%でした。

本講演では、これらの調査結果を踏まえ、生成AIを一律に禁止するのではなく、課題ごとに利用の範囲と開示の方法を示し、学習の過程を評価に組み込むことで不正を防ぐ方法を考えます。あわせて、不正が疑われる場合の対応と再発防止の指導、各教科の授業への取り入れ方について、『高校教育における生成AIガイド』の内容に沿って紹介します。

○対象 教育機関の教職員、全国都道府県・市町村教育委員会の担当者

※対象外の方からの参加お申込みについては参加をお断りさせていただくことがございます。

○参加費用 無料

○参加方法

Webセミナーサービス「Zoomウェビナー」を利用いたします。
インターネット接続された端末（PC、タブレット、スマートフォンなど）をご用意ください。
※本セミナーは質疑応答の時間がございます。ご参加の際はユーザ名を「学校名」と「お名前」にしていただきますようお願いいたします。

お申し込みはこちらから⇒

PCをご利用の方はWeb (https://kokc.jp/e/50e831709d30c1e386b17c22d86fc79e/)よりお申し込みください【申込期限：12月10日(木)】

実教出版株式会社 営業部 〒102-8377 東京都千代田区五番町5 03-3238-7777